

02 統計で何ができるか

1.今日のゴール：統計を「使う」ための第一歩

2.統計学の役割：バラバラな記録を「情報」に変える

3.データとは「事実の記録」である

1

2

3

4.データの種類：質的データと量的データ

5.検証の舞台：駅前ハンバーガーショップ

6.【事件発生】SNSの噂と自分の直感

7.【行動】1週間の徹底調査（500の記録）

4

5

6

7

8.【結果】どのくらい判断できるのか？

9.ここからは「私」の調査結果を検証する

10.今日使うデータ：「私」が調査した「1週間の記録」

11.実習 (1)：計算する前にデータを「眺める」

8

9

10

11

12.平均とは「全体の平らな姿」を見ること

13.実習 (2)：Excelで「平均」を計算する

14.最大・最小とは「体験の幅」を見ること

15.実習 (3)：Excelで「最大・最小」を計算する

12

13

14

15

16.中央値とは「並べた時の真ん中」を見ること

17.実習 (4)：Excelで「中央値」を計算する

18.「私」の計算結果を並べて比較してみよう

19.この時点で、何が分らない？

16

17

18

19

20.では、どうすれば判断できる？

「私」の7個のデータでは偶然かもしれませんが、判断を確かなものにするには、どうすればいいでしょうか。

- 解決策：データの「数（サンプルサイズ）」を増やす。
- 次回の予定：クラス全員のデータを合体させてみよう。

「私」のデータは小さくても、クラス全員を集めれば、100 個以上の巨大なデータになります。

「みんなのデータを合体せれば、真実が見えてくる」